

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 小川町

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
4,484	1,362	465	6,312

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	9,552	9,307	244	219	447	8,570	
一般会計等	9,552	9,307	244	219		8,570	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険特別会計	3,431	3,286	145	145	113	-	-	
介護保険特別会計	2,048	1,992	56	56	294	-	-	
後期高齢者医療特別会計	299	296	2	2	62	-	-	
老人保健特別会計	127	122	5	5	3	-	-	
下水道事業特別会計	903	879	24	24	95	3,941	2,617	
農業集落排水事業特別会計	64	58	6	6	42	580	569	
水道事業会計	625	598	27	1,156	5	902	10	法適用企業
公営企業会計等 計				1,394		5,423	3,196	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
比企広域市町村圏組合	106	101	5	5	3	-	-	一般
比企広域市町村圏組合	3,286	3,143	144	144	-	1,171	185	消防特別会計
比企広域市町村圏組合	18	13	4	4	-	-	-	ふるさと特別会計
比企広域市町村圏組合	123	107	16	16	-	-	-	廃掃・置きかき特別会計
比企広域市町村圏組合	81	72	9	9	-	-	-	介護・障害特別会計
小川地区衛生組合	1,461	1,405	56	56	34	296	110	
埼玉県後期高齢者医療広域連合	1,159	1,119	40	40	-	-	-	一般会計
埼玉県後期高齢者医療広域連合	437,989	425,950	12,039	12,039	3,587	-	-	特別会計
埼玉県市町村総合事務組合	42,213	41,997	216	216	1,340	-	-	一般会計
埼玉県市町村総合事務組合	374	270	104	104	-	-	-	交通災害共済事業特別会計
彩の国さいたまづくり広域連合	464	452	11	11	46	-	-	
一部事務組合等 計				12,644		1,467	295	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
比企土地開発公社	△ 1	27	2	-	-	69	-	-	
(財)小川町文化協会	4	13	2	-	-	-	-	-	
(財)埼玉伝統工芸協会	6	72	20	-	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等 計			24	-	-	69	-	-	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	764	605	△ 159
減債基金	2	2	-
その他充当可能基金	892	831	△ 61
充当可能基金 計	1,658	1,438	△ 221

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.52	3.46	△ 0.06	△ 14.31	△ 20.00	下水道事業特別会計	-	-	-
連結実質赤字比	30.93	25.55	△ 5.38	△ 19.31	△ 40.00	農業集落排水事業特別会計	-	-	-
実質公債費比率	6.7	6.7	-	25.0	35.0	水道事業会計	-	-	-
将来負担比率	81.1	72.1	△ 9.0	350.0					
財政力指数	0.71	0.71	-						
経常収支比率	95.0	97.7	2.8						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。